

第Ⅱ期県立学校施設管理実施計画  
(Ⅱ期：令和4～令和8年度)

兵庫県教育委員会  
令和4年3月

## 《 目 次 》

1 趣 旨	1
2 第Ⅰ期実施計画における成果	
3 第Ⅱ期実施計画の概要	2
(1) 長寿命化改修（一部実施）	
(2) トイレ改修	
4 実施校の選定	5
5 事業費等	6
【参考1】	
老朽化対策の基本方針（県立学校施設管理計画（平成28年3月策定））	7
【参考2】	
長寿命化改修等実施校一覧	8

## 1 趣 旨

『県立学校施設管理計画（平成 28 年 3 月）』に基づき策定した第 I 期県立学校施設管理実施計画（計画期間：平成 29～令和 3 年度）の期間が満了することから、新たに第 II 期県立学校施設管理実施計画（計画期間：令和 4～令和 8 年度）を定め、引き続き、県立学校の老朽化対策を推進する。

## 2 第 I 期実施計画における成果

第 I 期計画の事業費は 175 億円で、当初予定していた 230 億円を 55 億円下回った。

実施内容では、長寿命化改修は、計画 32 校が実績 12 校となった。特に、全部実施は、授業を行いながら工事することの課題として、想定を超える工期が必要となったこと、学校生活への影響を最小限にするための仮設校舎等が多額になることなどが明らかになった。一方、一部実施では教室移動も少なく単年度で一定の効果が得られた。

トイレ改修は、計画 58 校が実績 134 校となった。普通教室棟の改修がほぼ終了し、衛生環境は大きく改善した。

### (1) 計画・実施状況（I 期）

		I 期（2017～2021）			
		当初計画 (A)	実施状況 (B)	増減 計 (B-A)	
老朽化対策(a+b)	所 要 額	230 億円	175 億円	△55 億円	
長寿命化改修(a)	所 要 額	180 億円	65 億円	△115 億円	
	全部実施(c)	学 校 数	5 校	2 校	△ 3 校
	一部実施(d)	学 校 数	27 校	10 校	△17 校
	計 (c+d)	学 校 数	32 校	12 校	△20 校
トイレ改修(b)	所 要 額	50 億円	110 億円	60 億円	
	学 校 数	58 校	134 校	76 校	

### (2) 取組実績（I 期）

	取組実績
長寿命化改修 (全部実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業をしながらの工事のため、工事期間が長期化</li> <li>● 仮設校舎は高額</li> <li>● 施設の機能・性能・安全性が新築並みに改善</li> </ul>
長寿命化改修 (一部実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外壁塗装、屋上防水、普通教室棟トイレ改修等の必要最低限の改修を単年度で実施し、早期に効果を発現</li> <li>● 後年度に改めて内装や設備などの改修が必要</li> </ul>
トイレ改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普通教室棟はほぼ改修を終了し、衛生環境が大きく改善</li> <li>● 学校ごとに使用頻度や劣化状況等のバラツキが多い特別教室棟は未改修</li> </ul>
緊急修繕	予算の範囲内で引き続き実施〔事後保全〕

### 3 第Ⅱ期実施計画の概要

実施内容は、引き続き、長寿命化改修とトイレ改修とする。

長寿命化改修は、効果を早期に発現できる一部実施のみとし、38校で行う。限られた予算で多くの学校を整備できるように、外装など耐久性を向上させる改修を優先し、内装など機能・性能・安全性を維持するための改修は、各施設・設備の使用頻度や劣化状況等を勘案し、優先順位をつけて選定する。

トイレ改修は、第Ⅰ期で未改修な20校の普通教室棟を令和5年度までに完了する。

※特別教室棟のトイレ改修については、使用頻度、劣化状況などを勘案し、優先順位をつけて長寿命化改修と併せて実施

なお、県立学校施設の老朽化対策を進めるにあたっては、第Ⅰ期実施計画での知見を活かし、引き続き、予算の範囲内において緊急修繕（事後保全型）を併せて実施するとともに、劣化した建物や設備について単に建築時の状態に戻すだけでなく、機能や性能を現在の学校が求められる水準まで引き上げ、安全・安心な施設環境の確保や、学習環境・生活環境の質的向上を目指す。

※『県立学校施設管理計画』における老朽化対策の基本方針は、【参考1】(P7)のとおり

#### 【事業費】Ⅰ期・Ⅱ期比較

		Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅰ・Ⅱ期
		実施状況 (A)	計画 (B)	合計 (A+B)
老朽化対策(a+b)	所要額	175億円	200億円	375億円
長寿命化改修(a)	所要額	65億円	180億円	245億円
	全部実施(c)	学校数	2校	—
	一部実施(d)	学校数	10校	38校
	計(c+d)	学校数	12校	38校
トイレ改修(b)	所要額	110億円	20億円	130億円
	学校数	134校	20校	154校

#### (1) 長寿命化改修（一部実施）

普通教室棟及び特別教室棟等の躯体に影響を及ぼす、躯体改修・外壁塗装・屋上防水等を優先的に改修する。設備・機械についても使用頻度・劣化状況などを勘案し、優先順位を付けて改修する。

##### ① 改修パターン

	耐久性の向上			機能・性能・安全性の維持		
	外装 (外壁・屋上等)	設備関係		トイレ	内装	空調・ エレベーター 等
		重要	一般			
普通教室棟	○	○	△	○	△	—
特別教室棟	○	○	△	△	△	○
その他建物	△	△	△	△	△	—
改修内容 (次表)	1.2	3	4	5.6	7	8.9.10

※共通実施する建物（普通教室棟・特別教室棟）および工事区分を優先的に整備。

## 改修内容

○…共通項目 △…個別項目

区 分	改修の有無
1. 躯体改修（コンクリートのひび割れ、鉄筋腐食対策 等）	○
2. 外壁塗装、屋上防水	○
3. 重要設備の更新（消火・非常用放送・受変電設備）	○（耐用年数越え）
4. インフラ・一般設備の更新（給排水・電気・ガス設備 等）	△
5. 普通教室棟トイレ改修（便器洋式化・床乾式化）	○
6. 特別教室棟他トイレ改修（便器洋式化・床乾式化）	△
7. 内装改修（建具、床 等）	△
8. 特別教室（音楽室等5教室）への空調導入	○
9. 全館空調の更新（該当校のみ）	○（耐用年数越え）
10. エレベーターの更新 等	○（耐用年数越え）

## ② 標準的な工期

設計・改修工事は2年とする。

設計期間（約12ヶ月）・工事期間（約12ヶ月）

外壁塗装、屋上防水は基本的に同一棟足場を利用（単棟工期：約6ヶ月）

1年目	2年目
	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     現地協議・実施設計                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     普通教室棟、特別教室棟                 </div>

<例> 県立学校長寿命化改修〔一部実施〕（外壁改修・屋上防水）



## (2) トイレ改修

### ① 改修の内容

- I期計画から引き続き、普通教室棟のトイレ改修を令和5年度までに全校完了させる。
- 特別教室棟のトイレ改修は、長寿命化改修に合わせて実施する。なお、実施範囲は使用頻度や劣化状況を勘案して実施する。

### ② 標準的な工期

縦系統（2系統）のうち1系統ごとに実施する（1系統あたりの工期：約4ヶ月）。屋内改修時の生徒への改修騒音に配慮し、研り工事等は長期休業中に原則として実施する。



### <例> 県立学校トイレ改修（便器の洋式化、床の乾式化）



#### 4 実施校の選定

		旧耐震 (S56年以前)		新耐震 (S57年以後) 《耐震改修未実施》	計
		H10～20年度 《前期耐震改修》	H21以降～ 《後期耐震改修》		
直近の大規模改修	躯体補強 外壁塗装 屋上防水	実施済	実施済	未実施	—
	給排水設備 電気ガス設備 内装 等	実施済	未実施		
第Ⅱ期選定方針	高 校	大規模改修実施済のため、第Ⅲ期以降に実施 (0校)	耐震改修からの経過年数および建築の古い順に実施 (24校)	建築時期の古い順に実施 (9校)	(33校)
	特 支	建築時期の古い順に実施 (1校)	耐震改修からの経過年数および建築の古い順に実施 (2校)	建築時期の古い順に実施 (2校)	(5校)
実施予定校数		1校	26校	11校	38校

※ 旧耐震基準：昭和56年以前に建築。 新耐震基準：昭和57年以降に建築。

※ H10・11耐震改修先行実施校は、後期耐震改修に含む。

※ 実施順は各学校の事情等により変更になる可能性がある。

## 5 事業費等

区 分	学校数	工期	事業費		
			R4	R5	R6～R8
長 寿 命 化 改 修 (一部実施)	[R4～R8] 高校 33 校 特支 5 校 (予定)	設計 12 ヶ月 工事 12 ヶ月	30 億円	30 億円	40 億円/年
ト イ レ 改 修 (普通教室棟)	[R4～R5] 高校 20 校 (予定)	設計 4 ヶ月 工事 8 ヶ月	10 億円	10 億円	—
計	—	—	40 億円	40 億円	120 億円

※ R5 年度以降の予算額は見込額とする。

## 6 年次計画（実施予定校数）

年 度		R4	R5	R6	R7	R8	計
学 校 数	長 寿 命 化 改 修 (一部実施)	7 校	7 校	8 校	8 校	8 校	38 校
	ト イ レ 改 修 (普通教室棟)	10 校	10 校	—	—	—	20 校

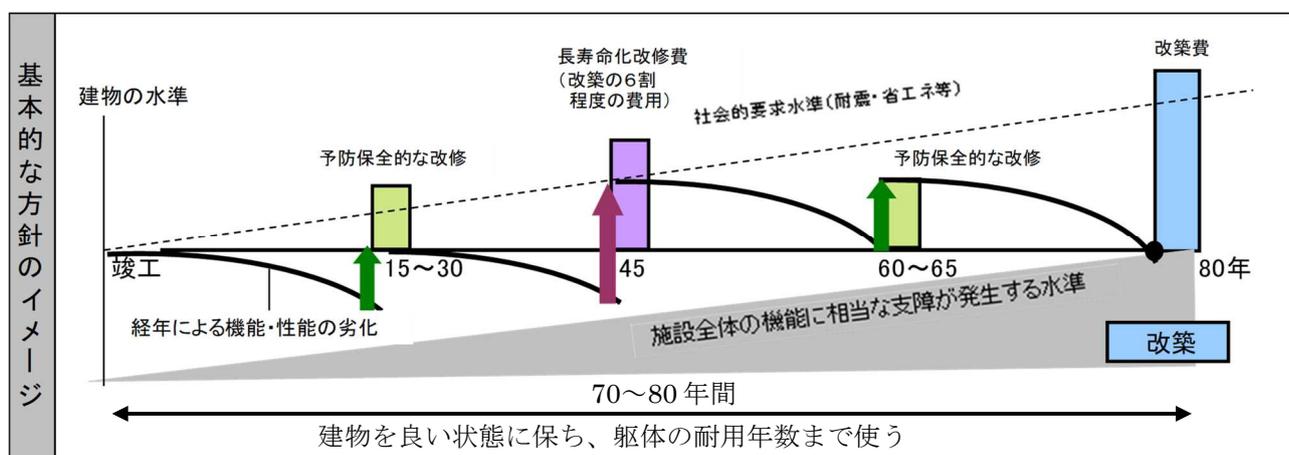
### 【令和 4 年度実施予定校】

区 分	校 数	高等学校	特別支援学校
長 寿 命 化 改 修 (一部実施)	7 校	神戸鈴蘭台、鳴尾、加古川西、加古川東 農業、尼崎工業	あわじ
ト イ レ 改 修 (普通教室棟)	10 校	八鹿、千種、伊和、生野 長寿命化改修対象校（神戸鈴蘭台等 6 校）	—

【参考 1】老朽化対策の基本方針（県立学校施設管理計画（平成 28 年 3 月策定））

県立学校施設の約 8 割超が、建築後 30 年を経過し、トイレ等の設備配管等の経年劣化など、老朽化が進んでいるため、県立学校の老朽化対策の指針となる「県立学校施設管理計画」を平成 28 年 3 月に策定

- ア トータルコスト削減のため、改築より工事費が安価な長寿命化改修を実施
- イ 機能・性能の保持・回復を図る、予防保全的な計画修繕をあわせて実施
- ウ 一定期間ごとに、予防保全的な計画修繕を行うとともに、概ね 45 年程度経過時に、長寿命化改修を実施することにより、建物の長寿命化を目指し、目標使用年数を 80 年と設定



[計画修繕（例）]

- (15 年周期) 建築（外壁塗装、屋上防水）
- (20 年周期) 機械・電気（給排水、空調、電力設備等）
- (30 年周期) 電気（昇降機設備）

旧耐震（昭和56年以前に建築）		新耐震（昭和57年以後に建築）		
耐震年度				
先行実施期 (H10, 11)	前期耐震改修 (H16~H20)	後期耐震改修 (H21~)		
宝塚東(済) 夢前	国際 伊丹 猪名川 明石南 三木 高砂 社 姫路南 龍野 太子 洲本 氷上 西脇工業 小野工業 飾磨工業 姫路工業 豊岡総合	宝塚(済) 神戸鈴蘭台 神戸北 須磨東 北須磨 舞子 尼崎 鳴尾 西宮北 西宮今津 柏原 篠山鳳鳴 加古川東 加古川西 東播磨 家島 豊岡 有馬 農業 播磨農業 上郡 尼崎工業 篠山産業 西脇北 姫路別所 佐用 福崎 伊和 千種 八鹿 生野 洲本実業	御影 東灘 神戸甲北 伊川谷 尼崎小田 尼崎稲園 西宮 西宮南 伊丹北 伊丹西 宝塚西 川西緑台 川西明峰 氷上西 明石北 明石西 明石清水 加古川北 西脇 多可 三木東 高砂南 松陽 小野 吉川 北条 姫路東 網干 相生 赤穂 神崎 香寺 日高 出石	浜坂 村岡 淡路三原 但馬農業 山崎 香住 武庫荘総合 東播工業 相生産業 姫路商業 和田山 阪神昆陽
				加古川南(済) 夢野台(済) 兵庫(済) 長田(済) 須磨友が丘(済) 星陵(済) 芦屋(済) 三田西陵(済) 明石(済) 神戸商業(済) 神戸高塚 西宮甲山 宝塚北 北摂三田 川西北陵 明石城西 三木北 播磨南 姫路飾西 神戸 三田祥雲館 西宮香風 伊川谷北 尼崎北 尼崎西 姫路西 津名 淡路 兵庫工業 篠山東雲 龍野北 芦屋国際中等

※校名（済）は、長寿命化改修実施済（第Ⅰ期）

※普通教室棟トイレ改修対象校（第Ⅱ期実施）は校名に下線表記。

※老朽化状況の調査の結果等により順次見直しを行っていく。

(特別支援学校)

旧耐震 (昭和 56 年以前に建築)			新耐震 (昭和 57 年以後に建築)
耐震年度			
H16～H20	H21～25	H26～H27	
あわじ	視覚 上野ヶ原	神戸聴覚 のじぎく こやの里 赤穂 和田山	氷上 北はりま
阪神	姫路聴覚 豊岡聴覚 神戸 高等 いなみ野 姫路 播磨 出石		阪神昆陽 芦屋 東はりま 西はりま 姫路しらさぎ 出石みかた校

※老朽化状況の調査の結果等により順次見直しを行っていく。

※西神戸高等特別支援学校、こばと聴覚特別支援学校は除く。

長寿命化改修  
(全部実施)

I 期 (2017～2021)

長寿命化改修  
(一部実施)

I 期 (2017～2021)

II 期 (2022～2026)

トイレ改修

I 期 (2017～2021)

II 期 (2022～2026)

※第Ⅲ期以降長寿命化改修対象校